

京都女子大学大学院文学研究科研究紀要

# 英語英米文学論輯

第3号

## 目次

### 〔論文〕

Conrad's *Heart of Darkness* in a Kantian Light

…………… Clive Stroud-Drinkwater …… 1

シャーロット・ブロンテと女性教育

…………… 末 森 恵 子…13

Why (Not) Read George Borrow?

…………… George M. Hyde…29

### 〔彙報〕

……………45

京都女子大学

2004

## 彙 報

2001（平成13）年4月に発足した大学院文学研究科英文学専攻博士後期課程は今年で完成年度を迎えた。この機会にこの間の大学院博士前期・後期課程（英文学専攻）の経過を記録しておくことにする。本誌はタイトルが示すように、研究紀要であり、博士後期課程の学生および大学院担当の教員の研究発表機関であるが、同時に、英文学専攻の大学院博士前期・後期両課程の動向を報告する場でもある。

### 行 事

2001年4月 博士後期課程英文学専攻発足

平成13年度入学式（入学者：前期課程4名、後期課程4名）

2001年5月 後期課程開設記念特別公開講座

講師：喜志 哲雄（京都大学名誉教授）

演題：シェイクスピア劇とシェイクスピア映画

講師：亀井 俊介（東京大学名誉教授・岐阜女子大学教授）

演題：日本におけるアメリカ学事始め

2001年11月 （英文学会2001年度大会）

修士論文中間発表会

2002年3月 平成13年度学位記授与式（前期課程修了者3名）

前期課程修了者修士論文題目

末森 恵子 *Woman's Independence in Jane Eyre*

西川 和佳子 *Where Forster Feared to Tread: Some  
Modernist Aspects of *Howards End**

俣野 智子 The Family Romance in Lawrence's *Sons and Lovers* and Some Other Writings of the Colliery Period

京都女子大学大学院文学研究科研究紀要『英語英米文学論輯』  
1号刊行

2002年4月 平成14年度入学式（入学者：前期課程3名、後期課程2名）

2002年11月（英文学会2002年度大会）

2002年12月 修士論文中間発表会

2003年3月 平成14年度学位記授与式（前期課程修了者2名）

前期課程修了者修士論文題目

笹田 久美子 Metaphor and Metonymy: How Metaphor and Metonymy Work in the Interpretation of Open Text

西岡 久美子 Representation and Reflection: Subjectivity and the Social World in Virginia Woolf

京都女子大学大学院文学研究科研究紀要『英語英米文学論輯』  
2号刊行

2003年4月 平成15年度入学式（入学者：前期課程1名、後期課程2名）

前期課程カリキュラム・専修免課程授業科目改訂（ Semester制導入。高度の専門職業人養成対応の科目増設）

2003年11月（英文学会2003年度大会）

修士論文中間発表会

2004年3月 平成15年度学位記授与式（前期課程修了者2名）

前期課程修了者修士論文題目

浅野 千晃 The Meaning of Evil in Milton's *Paradise Lost*

出口 典子 The Divided Self: The Double as Device in Ian  
McEwan's *Enduring Love*

京都女子大学大学院文学研究科研究紀要『英語英米文学論輯』

3号刊行

## 前期課程授業科目一覽 (2003年度)

授業科目	週時間	単位数	学年	期間	担当者
英語学特論 A	2	2	1・2	前期	有馬 道子 教授
英語学特論 B	2	2	1・2	後期	有馬 道子 教授
英文学特論 1 A	2	2	1・2	前期	辻 裕子 教授
英文学特論 1 B	2	2	1・2	後期	森 晴秀 教授
英文学特論 2 A	2	2	1・2	前期	加藤 文彦 教授
英文学特論 2 B	2	2	1・2	後期	武田 美保子 教授
英文学特論 3 A	2	2	1・2	前期	G. M. Hyde 教授
英文学特論 3 B	2	2	1・2	後期	G. C. Stroud-Drinkwater 助教授
米文学特論 1 A	2	2	1・2	前期	鴨川 卓博 教授
米文学特論 1 B	2	2	1・2	後期	鴨川 卓博 教授
米文学特論 2 A	2	2	1・2	前期	舟阪 洋子 教授
米文学特論 2 B	2	2	1・2	後期	桧原 美恵 教授
英語学演習 A	2	2	1・2	前期	有馬 道子 教授
英語学演習 B	2	2	1・2	後期	有馬 道子 教授
英文学演習 1 A	2	2	1・2	前期	辻 裕子 教授
英文学演習 1 B	2	2	1・2	後期	武田 美保子 教授
英文学演習 2 A	2	2	1・2	前期	森 晴彦 教授
英文学演習 2 B	2	2	1・2	後期	G. C. Stroud-Drinkwater 助教授
英文学演習 3 A	2	2	1・2	前期	加藤 文彦 教授
英文学演習 3 B	2	2	1・2	後期	G. M. Hyde 教授
米文学演習 1 A	2	2	1・2	前期	鴨川 卓博 教授
米文学演習 1 B	2	2	1・2	後期	鴨川 卓博 教授
米文学演習 2 A	2	2	1・2	前期	桧原 美恵 教授
米文学演習 2 B	2	2	1・2	後期	舟阪 洋子 教授
英米演劇特論	2	2	1・2	後期	喜志 哲雄 講師 ※集中講義
英米文学理論特論	2	2	1・2	前期	武田 美保子 教授
文化記号論特論	2	2	1・2	前期	有馬 道子 教授
英米文化特論	2	2	1・2	後期	加藤 文彦 教授
英語教育特論	2	2	1・2	前期	G. C. Stroud-Drinkwater 助教授
対照言語学特論	2	2	1・2	後期	
英語文献読解演習 A	2	2	1・2	前期	森 晴秀 教授
英語文献読解演習 B	2	2	1・2	後期	鴨川 卓博 教授
英語表現演習 A	2	2	1・2	前期	舟阪 洋子 教授
英語表現演習 B	2	2	1・2	後期	辻 裕子 教授

## 後期課程授業科目一覽 (2001～2003年度)

授 業 科 目	週時間	単位数	学 年	期 間	担 当 者
文体論特殊研究	2	4	1～3	通年	森 晴秀 教授
英語学特殊研究	2	4	1～3	通年	有馬 道子 教授
英文学特殊研究 I	2	4	1～3	通年	辻 裕子 教授
英文学特殊研究 II	2	4	1～3	通年	加藤 文彦 教授
英文学特殊研究 III	2	4	1～3	通年	G. M. Hyde 教授
米文学特殊研究 I	2	4	1～3	通年	鴨川 卓博 教授
英文学特殊研究 II	2	4	1～3	通年	舟阪 洋子 教授
英文学特殊研究 III	2	4	1～3	通年	桧原 美恵 教授
英米演劇特殊研究	2	2	1～3	後期	喜志 哲雄 講師
英米文化特殊研究	2	2	1～3	後期	武田 美保子 教授
比較文学特殊研究	2	2	1～3	前期	G. M. Hyde 教授
英米言語思想特殊研究	2	2	1～3	前期	G. C. Stroud-Drinkwater 助教授
研 究 指 導	2		1～3	通年	森 晴秀 教授 有馬 道子 教授 辻 裕子 教授 加藤 文彦 教授 G. M. Hyde 教授 鴨川 卓博 教授

## 編集後記

大学院研究紀要英文学専攻分冊『英語英米文学論輯』第3号が刊行されることになった。投稿された関係教員、大学院生に感謝する。

今年はちょうど博士後期課程の完成年度に当たっている。順調にゆけばこの号がでる頃には英文学専攻の第1号の博士が誕生するはずであった。後期課程修了予定者はそれぞれ懸命に課程修了に向けて努力を重ねているが、クリアしなければならぬ論文執筆の厳しい条件があり、現在鋭意それに向けた努力がなされている。そのことが、残念ながら、この号がかろうじて背に誌名が入るほどのうすいものになった主たる理由である。院生諸君の一層の努力を期待する。

本号も、創刊以来の方針に従って、すべての投稿論文を外部の権威者を含めた査読委員による審査に付した。査読委員は次のとおりである。委員、特に外部の両先生には、お忙しいなか慎重にご審査いただき貴重なコメントも頂戴した。ご苦勞に深く感謝する。

亀井 俊介 (東京大学名誉教授・岐阜女子大学教授)

喜志 哲雄 (京都大学名誉教授)

森 晴秀 (本学教授)

辻 裕子 (本学教授)

鴨川 卓博 (本学教授、大学院紀要編集連絡委員)

執筆者紹介 (掲載順)

Clive Stroud-Drinkwater (本学助教授、哲学・言語哲学専攻)

末森 恵子 (博士後期課程2回生、英文学専攻)

George M. Hyde (本学教授、英文学・比較文学専攻)

なお、執筆者の一人、Stroud-Drinkwater 博士は2003年12月5日心筋梗塞のため急逝された。巻頭論文を提出された数日後であった。これが彼の最後

の論文、絶筆となった。文学テキストを哲学、言語哲学の立場から解読する作業を着々と進めているさなかであり、いろいろなテキストについて興味ある知見が披瀝されるのを期待していたので、本当に残念である。R. I. P.

04：03：15 紀要編集連絡委員



英語英米文学論輯 京都女子大学大学院研究紀要  
文学研究科英文学専攻

---

2004年（平成16年）3月31日発行  
第3号

編 集 京都女子大学大学院文学研究科  
英文学専攻（博士後期課程）

発 行 京 都 女 子 大 学  
〒605-8501 京都市東山区今熊野北日吉町35  
電話 075-531-7051（代表）

印刷者 株式会社 図書 同 朋 舎  
〒600-8805 京都市下京区中堂寺鍵田町2  
電話 075-361-9121

---

# English and American Studies

JOURNAL OF THE GRADUATE SCHOOL  
KYOTO WOMEN'S UNIVERSITY



No.3

## CONTENTS

### [ Articles ]

Conrad's *Heart of Darkness* in a Kantian Light  
..... Clive Stroud-Drinkwater ... 1

Charlotte Brontë and Female Education  
..... Keiko Suemori ... 13

Why (Not) Read George Borrow?  
..... George M. Hyde ... 29

[ Reports ] ..... 45

Kyoto, Japan

2004